

事業評価結果(課・室)総括表

事業年度 令和8年度

部局名 未来創造部

所属名 女性活躍課

(単位:千円)

事業名	福井県長期ビジョン における位置づけ	経費 区分	事業 開始 年度	事業 終了 年度	予算額	決算額	財源内訳			評価区分
							国庫	その他 特定 財源	一般	
㊦企業における女性活躍推進事業	3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現	政策的経費	令和2年度	令和8年度	16,003		4,849		11,154	拡充
女性のためのキャリアアップ研修事業	3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現	政策的経費	令和4年度	令和8年度	9,447		4,723		4,724	継続
”女性活躍”から社会を変えるプロジェクト	3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現	政策的経費	令和6年度	令和8年度	3,465		1,732		1,733	継続
共家事・ラク家事促進によるゆとり時間創出事業	3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現	政策的経費	令和6年度	令和8年度	4,086		2,043		2,043	継続
女性のチャレンジ応援事業	3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現	政策的経費	令和6年度	令和8年度	1,044				1,044	継続
第5次福井県男女共同参画計画策定準備事業	3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現	政策的経費	令和8年度	令和8年度	3,768				3,768	継続
㊦ジェンダーギャップ解消に向けた外部人材活用事業	3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現	政策的経費	令和8年度	令和8年度	3,200				3,200	—
㊦女性活躍推進情報発信・意識啓発事業	3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現	政策的経費	令和8年度	令和13年度	14,407		7,427		6,980	—
㊦ふくい女性つながりサポート事業	3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現	政策的経費	令和2年度	令和8年度	8,351		4,175		4,176	拡充
㊦働く女性の応援サイト改修事業	3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現	政策的経費	令和8年度	令和8年度	2,695				2,695	拡充
					66,466		24,949		41,517	

		未来創造部	女性活躍課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現				事業開始年度	令和2年度
④ 企業における女性活躍推進事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	女性の採用・育成・登用など、女性の活躍推進に向けて積極的に取り組む企業を後押しし、県内企業における女性活躍の推進を図る。				
事業内容	(1) 企業の「男女賃金差異」公表義務化への迅速な対応と女性活躍に対する現状把握や課題解決を支援（新規） (2) 「女性管理職」の育成・登用を進める企業を顕彰 (3) 中部、北陸圏域連携を深め、企業の女性人材の交流を促進				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	16,003		4,849		11,154
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	県内企業の女性管理職の割合	20%	—	令和8年度末
	活動指標	ふくい女性活躍推進企業登録数	850社	1,015社	令和7年度
事業評価	企業に対するインセンティブの付与や伴走支援、講演会の開催により、企業における女性活躍を推進することができた。 <事業実績> ・「ふくい女性活躍推進企業」新規登録262社（計1,015社）（R8年2月末時点） ・女性登用アワード51社（うち奨励金支給4社） ・コンシェルジュによる企業訪問支援 延べ159社（R8年1月末時点） ・女性活躍に関する企業経営者向け講演会を開催（参加者133名）				
区分	拡充				

		未来創造部	女性活躍課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現				事業開始年度	令和4年度
女性のためのキャリアアップ研修事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	本県女性のためのリーダー育成研修プログラム「ハッピーキャリア縁カレッジ」を実施し、女性リーダーおよび管理職の輩出やすい社会づくりをより一層推進する。				
事業内容	働く女性のキャリア形成を段階に応じた4コースを開講し、きめ細やかな支援を行う。 (1) 管理職育成コース：20名 (2) リーダー育成コース：40名 (3) NEXT リーダーコース：60名 (4) トライアルコース：180名				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	9,447		4,723		4,724
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	県内企業の女性管理職の割合	20%	—	令和8年度末
	活動指標	受講者数	300人	401人	令和7年度
事業評価	<p>主要なコースにおいて定員を超える受講者数を確保するとともに、過去の受講者の中から実際に社内でリーダーや管理職として活躍する人材を輩出した。</p> <p><事業実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R7各コースの受講状況 管理職育成コース 20名 リーダー育成コース 48名 NEXTリーダーコース 61名 トライアルコース 272名 ・受講者のうちリーダー・管理職になった人数（H24～R6） 管理職以上：86人 リーダー：71人 				
区分	継続				

		未来創造部	女性活躍課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現				事業開始年度	令和6年度
”女性活躍”から社会を変えるプロジェクト				事業終了年度	令和8年度
事業目的	固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みに気づき、解消していくことにより、県民一人ひとりが自分らしく活躍できる社会づくりを推進します。				
事業内容	鯖江市と連携した、地域における性別役割分担意識等をテーマとしたワークショップの開催				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	3,465		1,732		1,733
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	「男は仕事、女は家庭」という考え方に肯定的な人の割合	16%未満	19.5%	令和7年度
	活動指標	地域向けセミナー参加者	60人	67人	令和7年度
事業評価	ジェンダーギャップ解消を図るためのセミナーを開催し、普及啓発に務めた。成果指標に関しては、無作為抽出による調査であり年度間でのばらつきが多少生じるものではあるが、事業を通じたより一層の普及啓発を図っていく必要がある。 <事業実績> ・企業向けセミナーの開催 計1回（後日アーカイブ配信） 参加者2,072名（①経営者・管理職575名 ②総務・人事担当376名 ③一般職員1,121名） ・地域向けセミナーの開催 計2回 参加者67名				
区分	継続				

		未来創造部	女性活躍課	事業年度	令和 8年度
1	個性を伸ばす（人材力）			経費区分	政策的経費
3	多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現			事業開始年度	令和6年度
共家事・ラク家事促進によるゆとり時間創出事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	夫婦・家族で家事をシェアする「共家事」や家事の省力化・外部化による「ラク家事」を促進し、「ゆとり時間」を創出することにより、一層の女性活躍の推進を図る。				
事業内容	(1) 家事代行利用モニターキャンペーンの実施 (2) 時短家事のコツや家事の悩みを共有する家事交流会の開催 (3) 連携協定企業等と連携し、県民向けに家事の省力化等に役立つ情報の提供				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	4,086		2,043		2,043
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	「男は仕事、女は家庭」という考え方に肯定的な人の割合	16%未満	19.5%	令和7年度
	活動指標	モニターキャンペーン応募者数	100件	584件	令和7年度
事業評価	県民参加型のイベント等を実施し、「共家事」に加え家事代行や時短家電を活用した「ラク家事」に関する普及啓発や実際の活用促進に努めた。成果指標に関しては、無作為抽出による調査であり年度間でのばらつきが多少生じるものではあるが、事業を通じたより一層の普及啓発を図っていく必要がある。 <事業実績> ・時短家事セミナーの開催 計1回 参加者51名 ・時短家事アイデアコンテストの開催 応募総数 293件 ・家事代行モニターキャンペーンの実施 応募総数 584件				
区分	継続				

		未来創造部	女性活躍課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現				事業開始年度	令和6年度
女性のチャレンジ応援事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	女性の創業・起業の機運を醸成するなど、女性の多様な自己実現を支援する。				
事業内容	(1) ふくい女性活躍支援センターに専門家を配置し、ふくい産業支援センターや商工会議所・商工会と連携した総合相談体制を構築 (2) 起業、NPO法人での活動、地域活動等の様々な分野において、功績が顕著な女性個人、団体・グループを顕彰する「ふくい女性のチャレンジ賞」の表彰人数を拡大				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,044				1,044
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	総合相談窓口を通じた創業・起業数	5人	—	令和7年度
	活動指標	ロールモデル発信数	10件	10件	令和7年度
事業評価	相談体制の構築や表彰制度拡大により、福井県内の多様な分野においてチャレンジする女性の発掘および発信を図った。成果指標に関して、創業や起業の相談には来るが実際に実行するのに障壁を感じている方が多く、関係機関と連携しながら実現できるよう支援を行っていく。 <事業実績> ・ふくい女性のチャレンジ賞受賞者数 個人：9名、団体3件 ・福井県内におけるロールモデルの発掘・発信 10名発信				
区分	継続				

		未来創造部	女性活躍課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現				事業開始年度	令和8年度
第5次福井県男女共同参画計画策定準備事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	第4次男女共同参画計画の計画期間が終了するため、令和8年度中に第5次男女共同参画計画を策定する。				
事業内容	令和7年度に実施した調査結果を踏まえ、世代別・属性別にインタビュー調査を実施し県民の声を計画に反映させる。				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	3,768				3,768
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	第5次計画策定	R9.4.1施行	—	令和8年度末
	活動指標	アンケート調査の実施	2回	2回	令和7年度
事業評価	次期計画策定に向け、県民や県内企業等における男女共同参画に関するアンケート調査を実施した。 <事業実績> ・県民意識調査アンケート 回収率 49.3% ・企業調査アンケートの実施 回収率 36.7%				
区分	継続				

		未来創造部	女性活躍課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現				事業開始年度	令和8年度
⑧ ジェンダーギャップ解消に向けた外部人材活用事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	地域おこし協力隊を活用し、企業訪問や先進事例を発掘・発信するなど、県内企業における女性活躍の推進を図る。				
事業内容	(1) 県内の女性活躍の取組みを進める優良企業やロールモデルとなる人材の発掘・取材・発信の強化 (2) 企業の課題・ニーズに応じた先進取組事例や施策の紹介、企業間交流の支援				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	3,200				3,200
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	情報発信回数	30回	—	令和8年度
	活動指標	企業訪問件数	30件	—	令和8年度
事業評価	—				
区分	新規				

	未来創造部	女性活躍課	事業年度	令和 8年度	
1	個性を伸ばす（人材力）		経費区分	政策的経費	
3	多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現		事業開始年度	令和8年度	
	⑧ 女性活躍推進情報発信・意識啓発事業		事業終了年度	令和13年度	
事業目的	固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みに関する情報を様々なメディア等を通じ積極的に発信することにより、県民や企業の一層の意識変革と行動変容の促進を図る。				
事業内容	(1) 県内自治体等と連携した男女共同参画に係る普及啓発活動の実施 (2) 多様なロールモデルとなる人物の発掘およびWebメディアやSNS等を通じた情報発信 (3) 「ゆとり時間」に係るPR動画、コンテンツの作成および情報発信				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	14,407		7,427		6,980
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	「男は仕事、女は家庭」という考え方に肯定的な人の割合	15%未満	—	令和8年度
	活動指標	SNS等を通じた情報発信回数	120回	—	令和8年度
事業評価	—				
区分	新規				

		未来創造部	女性活躍課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現				事業開始年度	令和2年度
㊦ ふくい女性つながりサポート事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	仕事や子育てなど様々な不安を抱えた女性に対し、居場所となるピアサポートサロンを開催するなど、きめ細かな支援を実施する。				
事業内容	(1) 若年層の参加促進を目的とした環境づくりの促進（新規） (2) ピアサポーターの資質向上研修の実施（新規） (3) 専門家によるピアサポートサロンの開催				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	8,351		4,175		4,176
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	ピアサポートサロンに参加して前向きになったと回答した割合	50.00%	—	令和7年度末
	活動指標	ピアサポートサロンの開催回数	120回	85回	令和7年度12月末時点
事業評価	ピアサポートサロンの開催回数は目標どおり達成する見込みである。また、多く悩みや不安を抱える女性に居場所を提供することで、悩みを共有し関連機関を紹介するなど支援につなげることができており、参加者からのアンケートでも概ね満足いただいております。成果指標についても達成の見込みである。				
区分	拡充				

		未来創造部	女性活躍課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現				事業開始年度	令和8年度
④ 働く女性の応援サイト改修事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	県が運営する「働く女性の応援サイト」を企業の情報発信および、働く女性と企業の双方向で情報のやり取りができるサイトに改修する。				
事業内容	(1) サイト全体のデザインリニューアル（新規） (2) 企業の取組み紹介記事ページや関連イベント等の紹介ページの構築（新規） (3) ふくい女性活躍推進企業への登録方法に関するFAQページの構築（新規） 等				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,695				2,695
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	—	—	—	—
	活動指標	ふくい女性活躍推進企業登録数	1,100社	—	令和8年度
事業評価	成果指標に関して、本事業はシステム改修作業をおこなうものであり、改修完了自体を目的としていることから成果指標の設定が困難であるため、成果指標を設定しない。				
区分	拡充				